

## 注 記

### (貸借対照表関係)

- 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- 子会社に対する短期金銭債権 46,301 千円  
子会社に対する長期金銭債権 401,358 千円  
子会社に対する短期金銭債務 213 千円
- 有形固定資産の減価償却累計額 8,477,135 千円
- 担保に供している資産  
定期預金 351,493 千円  
建物 1,366,813 千円  
機械装置 224,723 千円  
工具器具備品 416 千円  
土地 2,806,976 千円  
投資有価証券 368,838 千円
- 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している電子計算機一式及びコンクリート製品製造設備(バッチャープラント1基他)、その他があります。
- 繰延税金資産から控除した金額 1,451,080 千円
- 受取手形割引高 1,664,948 千円  
受取手形裏書譲渡高 8,810 千円
- 保証債務 216,636 千円
- 経営指導念書差入 1,172,204 千円
- 商法施行規則第92条に規定する差額 494,429 千円
- 商法施行規則第124条第3号に規定する資産に時価を付したることにより増加した純資産額は、60,414 千円であります。

### (損益計算書関係)

- 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
  - 子会社との取引高  
売上高 251,129 千円  
仕入高(営業費用含む) 34,467 千円  
営業取引以外の取引高 10,250 千円
  - 1株当たり当期純損失 38円52銭
  - 減損損失を計上した資産  
遊休不動産(土地) 熊本県1件  
賃貸不動産(建物・土地) 熊本県1件
- 減損損失を認識した遊休不動産及び賃貸不動産については、それぞれ個別の物件ごとにグルーピングしております。
- 近年の著しい不動産価額の下落により、上記の資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(28,124千円)として計上しております。その内訳は、建物6,211千円及び土地21,913千円であります。
- なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額と使用価値のいずれか高い価額としております。正味売却価額は固定資産税評価額等を参考として評価しており、使用価値は将来キャッシュフロー見積額を3.3%で割り引いて算定しております。